

第 50 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会  
第 13 回日本精神保健福祉士学会学術集会

**演題及び抄録原稿の募集について**

本協会では、2014年6月19日（木）から21日（土）までの3日間（19日のプレ企画を含む）、埼玉県支部並びに埼玉県精神保健福祉士協会の協力のもと、埼玉県さいたま市内において「第50回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第13回日本精神保健福祉士学会学術集会」（以下「第50回全国大会・第13回学術集会」という。）を開催いたします。

つきましては、第13回学術集会プログラムとなる分科会について、演題及び抄録原稿を募集いたします。

演題及び抄録原稿は、第50回全国大会・第13回学術集会の趣旨及びテーマ（ウェブサイト掲載）を踏まえた内容にて、各締切日をご確認のうえ、ご応募ください。

**〔演題申込締切日〕2014年1月6日（月）（必着）**

**〔抄録原稿提出締切日〕2014年1月17日（金）（当日消印有効）**

※抄録原稿査読小委員会での審査等後、抄録集掲載用に抄録原稿の再提出をしていただきます（VI-3参照）。

□ 演題及び抄録原稿募集要領 □

I. 演題申込者及び発表者の資格

1. 演題申込者（発表者）は、原則として「構成員」に限ります。
2. 精神保健福祉士の資格を有さない非構成員（他職種・学生等）は、構成員との共同により発表可能です。その際、発表者総数（申込者を含む）の過半数は構成員であることが条件です。
3. 精神保健福祉士の資格を有する非構成員は、演題申込者（発表者）もしくは共同発表者にはなれません。精神保健福祉士の資格を有する非構成員は「入会」して構成員（正会員）となることが資格要件ですので、演題申込締切日までに本協会への入会手続きを完了し、2014年1月20日（月）から開催される臨時理事会（書面表決等）にて入会承認を得てください。
4. 2013年度までの未納会費がある構成員は、演題申込者（発表者）もしくは共同発表者にはなれません。演題申込締切日までに必ずお支払いください。
5. 発表者及び来場する共同発表者は、「第50回全国大会・第13回学術集会」への参加が必須です。別途、必ず参加申込みを行ってください（2014年3月中旬頃からご案内いたします）。

II. 発表内容の対象

発表内容は未発表のものに限ります。他の学会にて発表（予定を含む）したものはご遠慮ください。

III. 倫理上の対応

演題申込用紙及び抄録原稿、発表に使用するPowerPointファイル等の映写資料（以下「抄録原稿等」という。）は、人権を最優先し、個人情報保護に配慮した表記として次の事項にご留意ください。

1. 事例及び写真
  - 1) 事例及び写真（以下「事例等」という。）の使用は、演題申込前に対象者の承諾を必ず得るとともに、その旨を必ず抄録原稿等に明記すること。
  - 2) 対象者の承諾を得ることができない場合、合理的理由を演題申込用紙に明記するとともに、その旨を必ず抄録原稿等に明記すること。
2. 対象者に関わる事項
  - 1) 氏名は、イニシャルではなく、A氏、B氏といった任意のアルファベットを用いること。
  - 2) 年齢は、「63歳」であれば「60歳代前半」とすること。
  - 3) 特定の年月は、「2005（平成17）年4月」であれば「X年Y月」等とすること。
  - 4) その他個人を特定できる内容は、抄録原稿等の内容に影響しない範囲で加工すること。

3. 上記の他、調査及び共同研究等に係る発表の場合、調査及び共同研究等の協力者、関係機関等の承諾を必ず得ること。

#### IV. 表記方法

抄録原稿等は、次の表記方法を遵守してください。なお、遵守されていない場合、「不採用」となる場合があります。

1. 文体は「…である」調とし、新かな、常用漢字、算用数字、慣用の単位符号を用いること。
2. 見出し番号は、順にI、1、1)、(1)、①とすること。
3. 外来語、外国人名(地名)、適当な日本語訳のない述語等は、カタカナを用いること。
4. 図、表及び写真には図1、表1及び写真1等の番号をつけること。
5. 年号は、「2013(平成25)年」といった「西暦(元号)」とすること。
6. 算用数字は、1桁は「全角」、2桁以上は「半角」とすること。[例] 5年、15歳、1,234円
7. 職種の表記は、初出は法律または法律に準ずる規定上の名称を使用し、以下は略称を使用すること。[例] 精神保健福祉士(以下「PSW」という。)
8. 普及していない専門用語や研究方法等については可能な範囲で説明を加えること。また、略語に関しても普及していない場合は、初出に正式記述をすること。  
[例] DALY (Disability-adjusted life-years/障害調整生存年)
9. 文献等から引用する場合、必ず引用文献を記載すること。なお、文献記載その他の表記方法は、機関誌「精神保健福祉」の投稿規定に準じること。

#### V. 演題申込み

1. 別表「募集演題のキーワード一覧」をご確認いただき、別紙1「演題申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、第50回全国大会・第13回学術集会抄録集編集事務局(以下「抄録集編集事務局」という。)まで「Eメール」(ファイルへのパスワード設定要)にてお申し込みください。

[Eメールアドレス] abstracts-edit@japsw.or.jp

受理の際は、近日中に演題申込用紙に記入されたEメールアドレスへ受理報告をお送りいたします。ご連絡が届かない場合は受理されていませんのでご注意ください。

2. 「連題」となる演題申込みについては、会場設営や運営等の関係上、ご希望に添えない場合やご相談させていただく場合があります。
3. 演題申込用紙へのご記入に際しては次の点にご留意ください。
  - 1) 発表主体(単独、集団(精神保健福祉士)、集団(多職種))を選択し、を付けること。
  - 2) 発表内容(実践報告、調査研究、文献研究、本協会または都道府県協会事業報告)を選択し、を付けること。
  - 3) 発表形式(口述発表、ポスターセッション)を選択し、を付けること。なお、口述発表については、提出多数の場合、会場設営や運営等の関係上、ポスターセッションへの変更があること。また、ポスターセッションについても、口述発表への変更をご相談させていただく場合があること。
  - 4) 演題に関連するキーワードを別表「募集演題キーワード一覧」から2つ選択し、番号で記入すること。なお、「21.その他」の場合は枠内に必ず適当なキーワードを記入すること。

記入例	1	21 貧困
-----	---	----------

- 5) 事例等の使用承諾状況(済・未)を選択し、を付けること。「済」の場合は、その方法(文書・口頭)を○で囲むこと。「未」の場合は合理的理由を明記すること。
- 6) 発表時に必要な機器(パソコン、その他)を選択し、を付けること。パソコンを選択した場合、PowerPointのバージョンを記載し、その他の場合はその内容を記載すること。

#### VI. 抄録原稿の提出及び採否の決定

1. 「IV. 表記方法」を遵守のうえ、次の要領にて抄録原稿を2部作成し、抄録集編集事務局まで「郵送」にてご提出ください。なお、ファクシミリやEメールでの提出はお受けできません(抄録原



す。

#### Ⅷ. その他

1. 分科会のテーマ設定及び発表者の割り振りは、抄録原稿査読小委員会が決定いたします。
2. 抄録集掲載用の抄録原稿提出後における掲載内容の変更等は、原則として、お受けできないことをご了承ください。また、勤務先名称における法人名は、抄録集等の紙面の都合上、削除させていただくことがありますことをご了承ください。
3. 第50回全国大会・第13回学術集会終了後、報告集（機関誌「精神保健福祉」）掲載用の報告原稿提出をご依頼いたします。

#### 【第50回全国大会・第13回学術集会抄録集編集事務局】

株式会社へるす出版事業部（担当：菅原）

〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3

（電話）03-5342-4327 （E-mail）abstracts-edit@japsw.or.jp

#### 【入会等に関するお問い合わせ】

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 事務局

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F

（電話）03-5366-3152 （FAX）03-5366-2993

（E-mail）office@japsw.or.jp （URL）http://www.japsw.or.jp/

<別表>

### 募集演題のキーワード一覧

\* 演題に関連するキーワードの番号を“2つ”選択し、演題申込用紙の所定欄にご記入ください。

- |                  |              |             |             |               |          |
|------------------|--------------|-------------|-------------|---------------|----------|
| 1. 児童福祉          | 2. 高齢者福祉     | 3. 障害者福祉    | 4. 地域福祉     | 5. 医療福祉       | 6. 司法福祉  |
| 7. 家族            | 8. 地域移行      | 9. 権利擁護     | 10. 雇用・就労   | 11. リハビリテーション | 12. 制度政策 |
| 13. 専門職教育        | 14. 虐待       | 15. メンタルヘルス | 16. 自殺対策・予防 | 17. アディクション   |          |
| 18. スクールソーシャルワーク | 19. スーパービジョン | 20. 災害支援    | 21. その他     |               |          |

## 第50回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会 第13回日本精神保健福祉士学会学術集会

### 開催概要

（2013年11月19日現在）

#### □テーマ

我が国の精神保健医療福祉の Merkm al を求めて～精神保健福祉士の存在意義を問う～

#### □期 日

2014年6月19日（木）～21日（土）

#### □会 場

大宮ソニックシティ （所在地）埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

〔主 催〕公益社団法人日本精神保健福祉士協会（日本精神保健福祉士学会）

〔協 力〕公益社団法人日本精神保健福祉士協会埼玉支部、埼玉県精神保健福祉士協会

〔後 援〕厚生労働省、埼玉県、さいたま市 他 ※申請予定

日本精神保健福祉士学会は、本協会内に設置する学会です。実践に根ざした精神保健福祉士及び精神保健福祉に関する学術研究振興を目的とした事業のひとつとして、毎年度、全国大会と連携した「学術集会」を開催しています。

第13回日本精神保健福祉士学会学術集会の企画は、主に「分科会及びポスターセッション」になります。

[2013年11月21日作成]